

サクラソウ日記

(自分に自信と夢を～いまをだいじに、なかまとともに、一步前進をめざして) 校長 宮脇真一

私は新しい年を迎える年末から年始にかけて、気持ちがウキウキして早起きになります。正月を挟んだこの時期はまさに「節目」。気持ちが自ずと前向きになり、張り切ってしまう自分を感じるのは私だけではないかと思います。

学校の暦は4月スタートですので、1月はまだ中間点。1月8日のこどもたちは、家庭での温かな毎日を過ごし、充足した表情でのスタートでした。3月までの50日ほどの登校は、進学・進級に「備える」時期。「次」に向け、何を積み重ね、どんな試みを始めるか。スタートです。



「-2度」の世界 (2025/1/10撮影)

スタート ～いまをだいじに～

感染症のまん延防止のため冬休み明けの集会もオンラインで行いました。私からは、学校教育目標の一節「いまをだいじに」について次の話をしました。

- ・今日の「体調」は? (いのちをだいじに・感染症予防も同様)
- ・今日の「くつばこ」は? (自分の「いま」を正しく認識すること)
- ・今日の「整理整頓」は? (次に備えるためにも)

冬休みに入る直前、体調を崩すこども、先生方の状況を大変心配しました。8日の朝「休みの間はずっと(体調が悪くて)寝てました」というこどもにも出会いました。「今は?」とたずねると「元気になった」とのこと。遊びに行けなかったのは残念でしたが、体調を整えるために貴重な時間を使った冬休みでしたね。感染症から自分を守る方法の一つに「手洗い、うがい」があります。簡単なことですが、丁寧に行いたいものです。

「くつばこ」の話も久しぶりにしました。「きっちりそろってる」と画面越しに答えてくれたこどもたちが約6割。「ちょっと自信ない」と答えてくれたこどもたちは約3割。では「何のためにそろえるのか?」。このことについては、私が学級担任をしていたころにこだわっていた「行動の背景にある意味を考えること」をはなしました。くつかかとをそろえながら、「気持ちを静め、次の行動の準備をすること」が私が当時のこどもたちと共有していた「行動の背景にある意味」です。

「整理整頓」の話もしました。校長室からのオンライン配信でしたので、横目でちらりと私の机上を見ましたが、残念ながら「整理」されていません。配信後、早速整理していると、自学ノートの提出に来たこどもたちに「校長先生も頑張ってくださいね」と応援されました。有言実行。おとなもこどもも我が身を振り返ることが大事です。

最後に、今日話した3つのことについて、「一度目は力が必要。二度目は少し力が必要。三度目は習慣になる」ことを話して集会の話を閉じました。

おめでたい話 ～先生たちもがんばりました～

教育公務員弘済会の教育論文公募に応募された先生方が多数入賞されています。

- ・優秀賞：前田理代教頭先生
- ・優良賞：古谷一馬先生、吉永岳史先生、藤本みなみ先生、岩根聰太郎先生
- ・東京海上日動教育基金賞：宮脇真一校長